1 主題名 自然愛護する D—(20) 自然愛護

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目D—(20)「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。」をねらいとしている。古来日本人は、自然から受ける様々な恩恵に感謝し、自然と調和を図りながら生活を営んできた。しかし、科学技術の進歩等に伴う物の豊かさ、便利さは、人間が本来もっていた感性や資質を弱くしてしまっているとも言われる。自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする態度は、地球全体の環境の悪化が懸念され、持続可能な社会の実現が求められている中で、特に身に付けなければならないものである。

高学年においては、自然の仕組みについての理解が深まり、自然環境に関わる課題についても理解できるようになる。こうした理解の上に立って、自然環境を保護するとともに、自主的、積極的に環境を保全する態度を育てることが求められる。また、人間の力が及ばない自然の偉大さと驚異についてもしっかり感じ取り、謙虚に自然に学ぶ態度を身に付ける必要があると考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について (男○名 女○名 計○名)

本学級の児童は、総合的な学習の時間において、「めざせ！エコライフ」というテーマで環境学習を開始したばかりである。○月○日にキッズミッションの講話として、講師の先生をお迎えし、環境問題の学習の導入となるような内容を聞いている。また、国語科「環境問題について報告しよう」では、資料を用いて、調べたことを報告する文章を書くために、環境問題の中から自分が興味のあることについて本やインターネット等で調べた程度の知識はある。

調査結果を見ると、草花の美しさ、自然の偉大さに感動する心はもっていることが分かる。しかし、草花を無意識に踏みつけたり、平気で折ったりするなど、自然保護についての心構えや生命の尊さへの実感がまだ十分に備わっていない児童も見られる。

そこで、自然の偉大さや驚異を感じて、「守りたい」「大切にしたい」という思いがもてるようにしていきたいと考えた。

意識調査の結果 (令和3年○月○日実施 ○名)

1	自然を大切にしていますか。	・とても大切にしている 8人	・大切にしている 24人
		・あまり大切にしていない 0人	・大切にしていない 1人
2	自然を見て、どのような気持ちになりますか。(複数回答)		
	・きれい 29人	・美しい 24人	・大きい 17人
	・遊びたい 14人	・堂々としている 6人	・見事だ 7人 など
3	大きな草原が近くにあれば、何がしたいですか。(複数回答)		
	・走り回りたい 20人	・遊びたい 18人	・座って休みたい 17人
	・入らずに見ていたい 4人		

(3) 資料について (資料名「一ふみ十年」)

立山に出かけた主人公勇は、立山の遊歩道のかたわらで、何気なく腰を下ろしたとき、高山植物「チングルマ」を踏んでしまった。この「チングルマ」がマッチ棒の太さになるのに10年以上かかると聞かされた大きな驚きを主人公が感じるという内容である。

本資料は、読む者全てに自然の偉大さに対する感動を与え、自然保護・愛護の心情を育てるものである。そこで、「立山の自然を守るにはどうすればよいか」について、観光客やそこで働く人々、自然愛護ボランティア等、さまざまな立場に立って考えさせることで、自然への考え方や見方・感じ方を多角的に想像・表出できるようにしていきたい。また、キッズミッションの講話の内容や道徳の教科書の「自然を守る取り組み」を活用して、更に自分たちの周りの自然を保護しようとする心情を高めたい。

3 本時の指導

(1) 目標

自然を守るための取り組みについて話し合う活動を通して、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

立山の景観や動植物の映像、チングルマの写真、マッチ棒、ワークシート、電子黒板

(3) 展開

主な活動と発問 (中心発問◎)	予想される児童の反応	支援の手立てと評価 (評) 評価方法
<p>1 立山の自然や高山植物の様子を見て感想を発表する。 ○立山の景色やチングルマの花を見て、どんなことを感じますか。</p> <p>2 資料「一ふみ十年」を聞き、話し合う。 ○自然解説員の松井さんがどんな気持ちで「そこにこしを下ろさないでください。」と言ったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい。雄大。 ・かわいい花。きれい。 ・そこに、チングルマの花があると気付いてほしい。 ・元にもどるまで十年はかかるからやめてほしい。 ・チングルマの花を守りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、立山やチングルマの写真や映像を見て、自然の美しさや雄大さに目が向くようにする。 ・補助発問で状況設定を確認したり、マッチ棒や年輪の写真を見せたりすることで、勇の行動から、自然と接するうえで、十分な思慮を欠いていたことに気付き、自然の驚異を感じ取れるようにする。
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">立山の自然を守るにはどうしたらよいでしょう。</p>		
<p>○自分が立山自然保護センターの人だったら、立山の自然を守るにはどうしたらよいと考えたでしょうか。</p> <p>◎他の人々はそれぞれの立場で、立山の自然を守るにはどうしたらよいと考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに考える人を決める。 ・ワークシートに自分の考えを書いた後、グループで伝え合う。 ・各グループの発表を聞いて、全体で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「座らないで」と、看板を立てる。 ・高山植物の大切さが分かるチラシを配る。 ・チングルマの前に立って呼びかける。 【自然保護ボランティア】 ・車を使わないで来てほしい。 ・来る人の数を決める。 【観光客】 ・美しい自然が見たいので、自然をこわさないようにする。 ・山でのルールは必ず守る。 【ホテルの従業員】 ・観光客が来てくれないと困るので、山でのルールを伝える。 ・自然を守れるホテルになるような工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、松井さんの視点から、自然を守ることを捉えられるように、全員で話し合う。 ・次に、グループごとに観光客やボランティアなどの様々な立場に分かれて自然を守ることを考えることで、自然への考え方や見方・感じ方を多角的に想像し、表出できるようにする。 ・今までの自分の考えや思いと比較し、考えや思いが広がったり、深まったりしたことを実感できるようにする。 ・多様な考えに触れることで、立山の自然だけでなく、自分たちの周りの自然も大切に守っていく必要があることに気付くようにする。
<p>3 本時の話し合いから、自然と自分との関わりを振り返る。 ○自分たちの周りの自然とどのように関わっていきたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東連津川がいつまでもきれいでいられるように、ゴミを捨てずに拾いたい。 ・小木津山自然公園で遊んだときは、樹木や植物を傷つけないようにしたい。 ・日高地区の自然が守れるような取り組みを調べたい。 	<p>[目指す児童の姿]</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自然を守る取組みへの参加希望か「自然を大切にしたい」という内容がワークシートに書かれている。</p>
<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(評) 自然環境を大切にしようと考えているか。 (ワークシート・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズミッションでの講話を引用し、身近な自然を守ることから取り組めるように伝える。